学校番号	413

平成 31 年度　地理歴史科

教科	社会科	科目	地理 A	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	高等学校　新版　地理Ａ（第一学習社）　183　第一　地Ａ310						
副教材等	新編地理資料2019（東京法令出版） 新詳高等地図(帝国書院)　46　帝国　地図 - 310						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景，日常生活との関連を踏まえて考察し，現代世界の地理的認識を養うとともに，地理的な見方や考え方を培い，国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養ってください。

2　学習の到達目標

異文化の理解及び地球的課題への興味・関心を持たせるため、アクティブラーニングや ICT を取り入れ、学ぶ態度を育成する。また、地理的な知識を深め、世界での事象を理解させる。そして地球規模での物の捉え方、思考・判断・表現できる力を身につけさせるため、自分の意見をグループ学習等で考えを共有し、意見を発表できる場を設けることで、思考・判断・表現できる力を磨くと共に、地理的な技能を身に付けさせる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	現代世界の地理的な諸課題に対する関心と世界が抱える課題に目を向け，それを追究するとともに，国際社会に主体的に生きる世界の一員として物事を捉えようとしている。	現代世界の地理的事象から課題を見いだし，地域性を踏まえて多面的・多角的に考察すると共に，国際社会情勢に対して、自らが判断し，考察の過程や判断した結果を適切に表現する。	地図や統計，こちらが提供する画像などの諸資料を収集・観察・考察し，有用な情報を選択，活用することを通して現代世界の地理的事象を追究する技能を身につけている。	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し，その知識を身に付けている。
評価方法	■ 主体的に学習に取り組めているか。 ■ 興味関心を持ち、自らの知識を増やし理解を深めようとしているか。 ■ 自らの意見を発表できているか。 ■ ノートに授業内容以外にも、しっかりとメモをとることができているか。	■ 理解した知識や活かし、ある課題や事象に対して、自らの判断で思考・考察し、意見を発表できているか。 ■ 自らの意見を自分自身の言葉で表現できているか。	■ 地図・統計・画像等の諸資料を収集・観察・考察し，様々な情報の中から必要な情報を選択できているか。 ■ 情報を活用し、現代世界の地理的事象を追究する技能を身につけているか。	■ 班別学習、個人ワーク、自宅学習を行うための課題を提出しているか。 ■ 自らが得た知識を発表できているか。 ■ 定期考査での点数。 ■ 班別小テストで、点数を取っているか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	第1編　現代世界の特色と諸課題の地理的考察 1章　地球儀や地図でとらえる現代世界	①　球面で世界を考えよう ②　世界地図の特徴を知ろう ③　世界観の広がりと地図	○	○			a.　地図の用途、使用方法が理解できる。 b.　地球儀上の位置の示し方や時差の考え方を学び，時差の計算ができるようになる。 c.　メルカトル図法，正積図法，正距方位図法で描かれたさまざまな地図を地図帳（アトラス）やインターネット等を使って集め，その特徴と欠点を理解し，用途に応じた適切な図法を選択できるようになる d.　世界観の広がりとともに地図に描かれる内容が変化してきたことを理解し，現在見られる衛星画像や地理情報システムなど新しい地図表現の役割を理解する。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・班別学習テスト ・ノート提出 ・定期考査
				○		○		
				○	○	○		
		④　国家の領域と領土問題 ⑤　国家をこえた結びつき		○	○	○	a.　国家とは何かを理解している。 b.　さまざまな情報手段を活用して世界の領土問題について知識を深めている。 c.　世界の領土問題の発生場所を把握している。 d.　国家の結びつきの必要性を理解している。	
			○	○		○		
		⑥　交通機関の発達と縮小する地球世界 ⑦　情報・通信で一体化する世界		○	○	○	a.　交通・通信の発達を理解している。 b.　生活，社会，産業などの関係がどのように変わってきたかを理解している。 c.　教科書に掲載されているさまざまな主題図などを適切に活用しながら時系列で、交通の変化を理解している。 d.　交通・情報が発達する中で、世界が変化していくことを理解している。	
			○		○	○		
		⑧　人・「もの」・資本で結びつく世界		○	○	○	a.　人・「もの」・資本の移動がなぜ起こるのか理解している。 b.　国際貿易，国家間の結合などが活発化・複雑化していることを理解している。 c.　貿易のあり方・形を、流通している品目などから種類分けすることができている。 d.　貿易による、世界の変化、特に先進国と発展途上国との関係から発生する諸問題について考えることができる。	

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	2章　世界の人々の生活を取りまく地球的環境	①　さまざまな環境の中で暮らす人々 ②　世界的視野から見た地形 ③　さまざまな地形と生活 ④　世界的視野から見た気候 ⑤　世界の気候と生活	○		○	○	a.　人々の生活様式の差異を，地理的環境とのかかわりから理解している。 b.　世界の自然環境は地域的に大きく異なっていることに気づき，現在のような分布になった理由について，関心をもって学習する。 c.　世界の自然環境を地形と気候の面から大きくとらえ，なぜ差異が生まれるのか，人間生活にどのように影響しているのかについて理解する。また，雨温図を作成する作業をとおして，世界を各気候区分に分類する技術を養う。 d.　さまざまな地形上で営まれている人々の生活とそのかかわりについて学習し、世界の気候帯ごとに，どのような特徴があり，どのような生活が営まれているのかを理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・班別学習テスト ・ノート提出 ・定期考査
			○	○				
				○		○		
				○		○		
			○	○		○		
		⑥　世界の民族・宗教と生活・文化 ⑦　生活・文化を支える産業の地域性	○		○	○	a.　世界の人々がもつ民族性や言語，宗教を理解している。 b.　世界の人々がもつ民族性や言語，宗教を教科書に掲載されている写真・地図を適切に使用して理解している。 c.　現在発生している民族問題の本質を考察できている。 d.　世界の農業・鉱工業について，発達過程を地理的環境との関連で理解し，現在の分布状況や統計資料とあわせて考察する。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・班別学習テスト ・ノート提出 ・定期考査
				○		○		
	3章　世界の諸地域の生活・文化と環境	①　東アジアの暮らしを学ぶ	○	○	○	○	a.　世界各地での人々の生活・文化は，その地域をめぐる長い歴史や自然環境に影響を受けることが多いことを理解している。 b.　東アジアの自然と農業を踏まえ第二次世界大戦後営まれてきた人々の生活・文化が，近年の経済発展でどのように変化してきたのかを理解している。 c.　東アジアにおける地理的感覚を養うことができている。 d.　大衆レベルでの東アジアでの交流と将来の関係性について考察することができている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・班別学習テスト ・ノート提出 ・定期考査

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
2学期	3章　世界の諸地域の生活・文化と環境	②　東南アジアの暮らしを学ぶ	○	○	○	○	a.　世界各地での人々の生活・文化は，その地域をめぐる長い歴史や自然環境に影響を受けることが多いことを理解している。 b.　東南アジアという地域に注目し，農業などに大きく影響する自然環境や，現在の民族・宗教分布とその背景を知識として身につけ，伝統と高い経済成長による変化ついて理解を深めている。 c.　ＡＳＥＡＮの結びつきについて作業を通して理解している。 d.　東南アジア共同体の実現に向けた展望と課題について，さまざまな情報手段を用いて調べ，話し合うことができている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・班別学習テスト ・ノート提出 ・定期考査
		③　南アジアの暮らしを学ぶ	○	○		○	a.　世界各地での人々の生活・文化は，その地域をめぐる長い歴史や自然環境に影響を受けることが多いことを理解している。 b.　インドを中心とした南アジアという地域に注目し，そこに暮らす人々の民族・宗教分布の背景を学び，特に宗教と密接に関連したインドの生活と変化について，理解を深める。 c.　南アジアの地理的感覚を養う作業を通して南アジアという地域を理解している。 d.　南アジアの今後の展望と課題について，さまざまな情報手段を用いて調べ，話し合うことができている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・班別学習テスト ・ノート提出 ・定期考査
		④　北アフリカ・西アジアの・中央アジアの暮らしを学ぶ	○	○		○	a.　世界各地での人々の生活・文化は，その地域をめぐる長い歴史や自然環境に影響を受けることが多いことを理解している。 b.　ムスリムが多く暮らす北アフリカ・西アジア・中央アジアの暮らしに注目し理解している。 c.　乾燥帯，イスラーム，石油という地域性を知識として身につけている。 d.　パレスチナ問題やイスラーム原理主義など激動する世界情勢について理解を深めることができている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・班別学習テスト ・ノート提出 ・定期考査
		⑤　中南アフリカの暮らしを学ぶ	○	○		○	a.　世界各地での人々の生活・文化は，その地域をめぐる長い歴史や自然環境に影響を受けることが多いことを	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
2学期	3章　世界の諸地域の生活・文化と環境	⑤　中南アフリカの暮らしを学ぶ。	○	○		○	理解している。 b.　ネグロイド系の人々が多く暮らす中南アフリカに注目し，現在の国家や産業に植民地支配の傷跡が残っていることを理解している。 c.　植民地支配を受けていた主な国の具体例を挙げ、課題について学ぶことができている。 d.　中南アフリカが抱える課題と、その課題に向けて採られている対策を理解することができている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・班別学習テスト ・ノート提出 ・定期考査
		⑥　ヨーロッパの暮らしを学ぶ	○	○		○	a.　世界各地での人々の生活・文化は，その地域をめぐる長い歴史や自然環境に影響を受けることが多いことを理解している。 b.　ヨーロッパの中の自然環境の違いやたどってきた歴史の違い，地域性を学ぶことができている。 c.　一体化の進むヨーロッパ社会の現状を，作業を通して理解することができている。 d.　ＥＵの結びつきの過程と、それが抱える課題と解決策を考えることができている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・班別学習テスト ・ノート提出 ・定期考査
		⑦　ロシアと周辺諸国の暮らしを学ぶ	○	○		○	a.　世界各地での人々の生活・文化は，その地域をめぐる長い歴史や自然環境に影響を受けることが多いことを理解している。 b.　ロシアとその周辺諸国について，ソ連時代からＣＩＳにいたるプロセスを理解している。 c.　ソ連解体後のロシア人の生活・文化と産業などの変化を、作業などを通して学習することができている。 d.　ロシアが抱える課題について、考えることができている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・班別学習テスト ・ノート提出 ・定期考査
		⑧　北アメリカの暮らしを学ぶ	○	○		○	a.　世界各地での人々の生活・文化は，その地域をめぐる長い歴史や自然環境に影響を受けることが多いことを理解している。 b.　移民の国アメリカ･カナダに注目し，アメリカの移民社会と現在の多文化社会の特徴を理解することができている。 c.　産業・大衆文化の形成にどのような	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・班別学習テスト ・ノート提出 ・定期考査

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
2学期	3章　世界の諸地域の生活・文化と環境	⑧　北アメリカの暮らしを学ぶ	○	○		○	影響を与えてきたかを理解している。 d.　アグリビジネスやＩＣＴ産業に代表されるアメリカの先進性について，理解を深めることができている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・班別学習テスト ・ノート提出 ・定期考査
		⑨　中央・南アメリカの暮らしを学ぶ	○	○		○	a.　世界各地での人々の生活・文化は，その地域をめぐる長い歴史や自然環境に影響を受けることが多いことを理解している。 b.　先住民や移民，混血など多様な人種・民族からなる中央・南アメリカの社会について理解している。 c.　先住民独特の生活・文化や混血の国ブラジルと日系移民の歴史・生活，白人国家アルゼンチンなどの分布を地図で理解している。 d.　先住民独特の生活・文化や混血の国ブラジルと日系移民の歴史・生活，白人国家アルゼンチンなどを具体例に，その地域の課題も含めて理解している。	
		⑩　オセアニアの暮らしを学ぶ	○	○		○	a.　世界各地での人々の生活・文化は，その地域をめぐる長い歴史や自然環境に影響を受けることが多いことを理解している。 b.　太平洋諸島も含むオセアニアについて，その位置関係，自然環境，民族移動の歴史を学ぶことができている。 c.　多文化社会のオーストラリア・ニュージーランドを中心に，他地域との関係性を地図で理解できている。 d.　多文化社会のオーストラリア・ニュージーランドを中心に，他地域と結びつきを強めているオセアニアについて考察することができている。	
	4章　私たちが直面する地球的課題	①　地域の違いとつながりに注目する		○		○	a.　現在，直面している地球的課題にはどのようなものがあるかに興味を持っている。 b.　課題に注目し，それらは相互に関連し，地域によって現れ方が異なることを理解している。 c.　地域とのつながりを地図上で理解している。 d.　各地球的課題について，地域性を踏まえて把握するとともにその問題の	

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
2学期	4章　私たちが直面する地球的課題	①　地域の違いとつながりに注目する		○		○	所在や解決の方向性を書き、発表し共有する。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・班別学習テスト ・ノート提出 ・定期考査
		②　人口問題－対照的な人口増大と少子・高齢化 ③　食料問題－食料需給のアンバランス ④　都市・居住問題－健康で安全な生活環境	○	○		○	a.　人口問題について，先進国の少子・高齢化，発展途上国の人口爆発という対照的な問題が起こっていることを理解している。 b.　食料問題について，食料分配の不平等さが飢餓と飽食の地域差を生み出していることを理解している。 c.　居住・都市問題について，発展途上国ではスラム，先進国ではインナーシティ問題などが現れていることを理解している。 d.　それぞれの問題について、相互に関連性があり、その諸課題について理解を深めている。	
			○	○		○		
			○	○		○		
		⑤　資源・エネルギー問題－せまられる有効な利用	○	○		○	a.　資源・エネルギー問題について興味・関心を持っている。 b.　資源の限界性と偏在性を理解し，原子力発電を含む世界のエネルギー利用の変化について理解している。 c.　新エネルギー開発の必要性と、その分布地域を地図で理解できている。 d.　世界のエネルギー問題と、それぞれの諸課題について考察することができている。	
		⑥　地球環境問題－２１世紀は環境の時代 ⑦　地球的課題への取り組みと国際協力	○	○		○	a.　地球環境問題に興味・関心を持っている。 b.　酸性雨・地球温暖化・森林破壊と生物種の減少・砂漠化を例に学び，世界的な取り組みと地域に応じた取り組みが必要であることを理解している。 c.　環境問題の地域性や分布を地図上で理解している。 d.　国際社会の中で日本が果たすべき役割を認識し，国際協力について,グローバルに考える視点と身近な問題として考える視点を身につける。	
			○	○				
3学期	1章　日常生活と結びつの地理的考察	①　地図をもって生活しよう	○	○	○		a.　観光地図や所要時間マップ，鳥瞰図など，教科書に掲載されている地図を，関心をもっている。 b.　また身近にあるさまざまな地図を収集して，地図を読むことの楽しさを理解することができている。 c.　地図の役割を理解し活用することが	

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
3学期	第2編　生活圏の諸課題の地理的考察 1章　日常生活と結びついた地図	①　地図をもって生活しよう	○	○	○		できている。 d.　地図も生活を支えている重要なものであることを理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・班別学習テスト ・ノート提出 ・定期考査
		①　身近な地図を読みこなそう ②　地図表現について考えよう ③　地形図を活用しよう	○	○	○		a.　観光地図とインターネット上の地図を比較して，描かれていることと描かれていないことがあることを理解する。 b.　地理の言語としての地図，作成者の意図により取捨選択されている地図について，現在は住民参加の地図や触地図，バリアフリーマップなどさまざまな種類の地図が発行されていることから，目的に応じた地図選択の重要性を理解する。 c.　地形図を読む際の決まりごとを知識として身につけ，新旧地形図の比較から地域の変化を読み取ることを学習する。 d.　地形図学習のまとめとして，身近な地域の地形図を入手し，読図した結果を現地に赴いて確認し，地形図活用の有効性ついて理解を深める。	
				○		○		
			○	○	○	○		
3学期	2章　自然環境と防災	①　日本の自然と生活	○	○	○		a.　教科書に掲載されている写真や地図・図版・ICT・視覚教材を適切に参照している。 b.　自然災害が多発する日本列島に，豊かな文化が築かれた背景を理解する。 c.　生活に影響を与えている気候，局地的な気候について理解し，気候によって異なった特徴を見せる生活・文化について，グループ内で話し合い意見を共有することができている。 d.　生活に影響を与えている地形の特徴について理解するとともに，地形の状態に応じて暮らしてきた日本の村落・都市立地を理解し，江戸時代以降，地形を改変して生活環境を変化させてきた人々の暮らしがどのようなものになっているか考察することができている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・班別学習テスト ・ノート提出 ・定期考査
		②　自然災害に備えた暮らし	○	○		○	a.　自然災害の多い日本列島で，人々の生活に大きな影響を与える火山災害・水害・地震について，自然現象やこれまで受けてきた災害の歴史を理解するとともに，先人の知恵が詰	

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
3学期	2章　自然環境と防災	②　自然災害に備えた暮らし	○	○		○	まった，災害に備え，災害とともに暮らす生活について関心をもって考察する。 b.　自然災害に備えるためには，ハザードマップや緊急地震速報の有用性を認識するとともに，災害に強い地形や環境について理解し，災害に見舞われた際になるべく被害を減らせる(減災)できるよう，地域防災力を高めるために個々人ができることを積極的に話し合うことができている。 c.　自らが住む地域のハザードマップを参考に，最も起こりやすいと想定されている災害は何か，また避難時に障害となるところはどこか，など，地域とそこに住む住民とともに減災に向けて意欲的に取り組むことができている。 d.　作業を通して日本の気候と農業，気候と河川の関係性について学習する。また，ハザードマップを読み解き，災害時の行動を見通し，日ごろから災害に備えることの重要性を理解することができている。	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・班別学習テスト ・ノート提出 ・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。